

当社の製造するセルロースナノファイバーは複数種あり、木材チップを原料としているものは、リグニンを含むリグノセルロースナノファイバーです。90%～95%水分で、クリーム状の形態となりますが、種類により含水、粘度、形態が異なります。

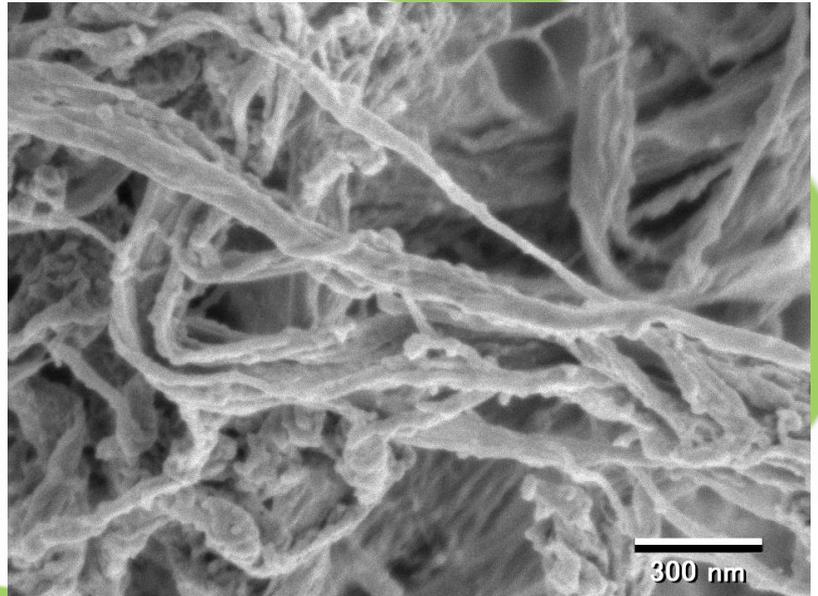
檜チップを原料としたリグノセルロースナノファイバーは繊維長が短く、また繊維幅が若干大きくなっており、アスペクト比が小さい傾向となります。

リグノセルロースナノファイバー

水分約 95%

繊維幅 50～300nm

比表面積 90m<sup>2</sup>/g



パルプを原料としたセルロースナノファイバーは繊維長が長く、また繊維幅が小さくなっており、アスペクト比が大きい傾向となります。

セルロースナノファイバー

水分約 95%

繊維幅 30～200nm

比表面積 150m<sup>2</sup>/g

